

国立大学法人 宇都宮大学
地域デザイン科学部
石井大一郎

ほかに
社会共創促進センター 企画室室員
地域デザインセンター委員
地域防災部門長



①自己紹介

神奈川 to 栃木

2015

中間支援NPOの理事・事務局として15年従事。
横浜や平塚などにおいて自治会町内会のまちづくり支援、地区センター職員研修、地域福祉計画策定支援、横浜市市民活動支援センター副責任者、西区市民活動支援センターを担当。この他、**地域づくり大学校の設立・運営**に長年従事。その後横浜市が政策化し全区で事業化。この他、よこはま食事サービス連絡会事務局、**復興庁ソーシャルビジネス事業**を担当。

学位：博士（政策・メディア）

委員等：

- 横浜市協働事業検証推進会議 委員2008-10
- 横浜市男女共同参画センター北 市民運営協議会2010-2013
- 藤沢市都市景観審議会委員2004-14
- 平塚市市政アドバイザー2013-14
- 港南区、保土ケ谷区等のまちづくり支援や、ヨコハマアートサイト等で助成金審査員 など

その他：

横浜市内立大学等でコミュニティ政策に関する非常勤講師。
専門社会調査士、一級建築士。

宇都宮大学地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科教授、地域防災部門部門長

一般社団法人とちぎ市民協働研究会副理事長

ふくしまつぎのまなび研究会共同代表

コミュニティ政策学会関東支部長

専門は**市民参加、地域自治（住民自治＋関係人口）**。授業ではまちづくり論やNPO論を担当。

「**1人で見える夢は夢に終わるけれど、3人いれば始められる。5人いればなんだってできる**」を motto に、まちづくり塾主宰、若者の社会参加の支援を行う。

委員等：

- 栃木県社会貢献懇談会会長
- 栃木県生涯学習審議会会長
- 宇都宮市みんなでまちづくり協議会座長
- 宇都宮市魅力ある学校づくり地域協議会座長
- 宇都宮市空き家会議座長
- 栃木市男女共同参画審議会会長
- ・・・
- 福島県田村市集落支援員さんの活動支援
- **福島国際研究教育機構まちづくり分野研究チーム代表教員**

①自己紹介

近年の
実践活動

地域組織再編



5つの自治会で。@横浜市戸塚区



地区と世代を超えたワークショップ
@さくら市河戸

若者



地方の若者の居場所
@日光市

中高生



土壌作りを体験する2年生

中学校の防災訓練を楽しく
@那須塩原市



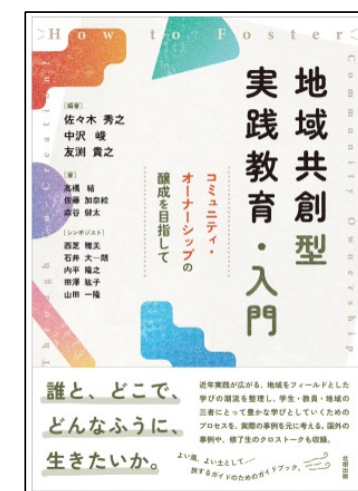
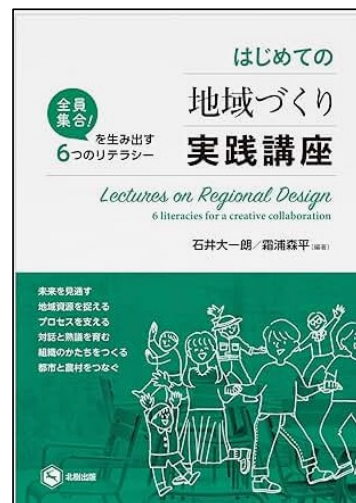
高校生のまちづくり参加
@真岡市



自治会条例の策定や地域
支援に関する委員等

①自己紹介

近年の著書



②地域コミュニティに関する問題意識 (コミュニティ政策についての考えなどを含む)

これまで主に10年間、以下の大きな問題意識を持ち、それに対応した2つの研究課題を据えて実証的な研究を、量的・質的な社会調査の手法を用いて進めてきました。

問題意識

①これまでに照らされにくかった市民層の参加（「意思決定の場」や「社会・地域活動」）（図1内のⅣ）と、②それを促す既存の地域組織の再構築（図2の第3の連帯）が、これからの地域暮らしのwell-beingを高める

2つの研究課題

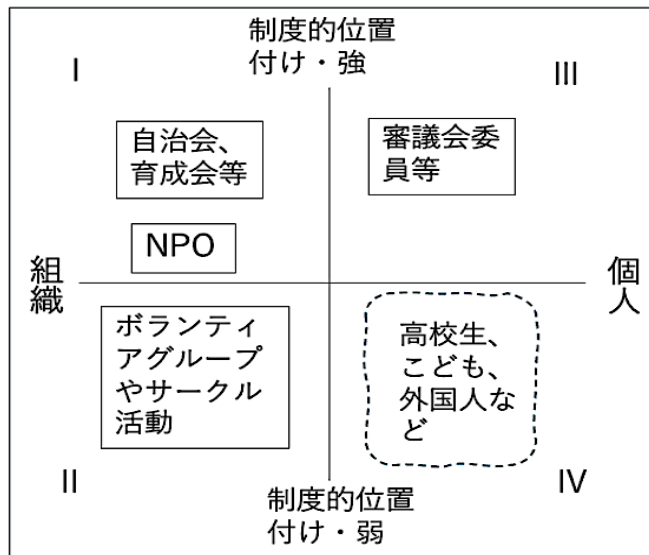


図1 ①の説明図 象限Ⅳの参加が未成熟な日本のバージョンアップ

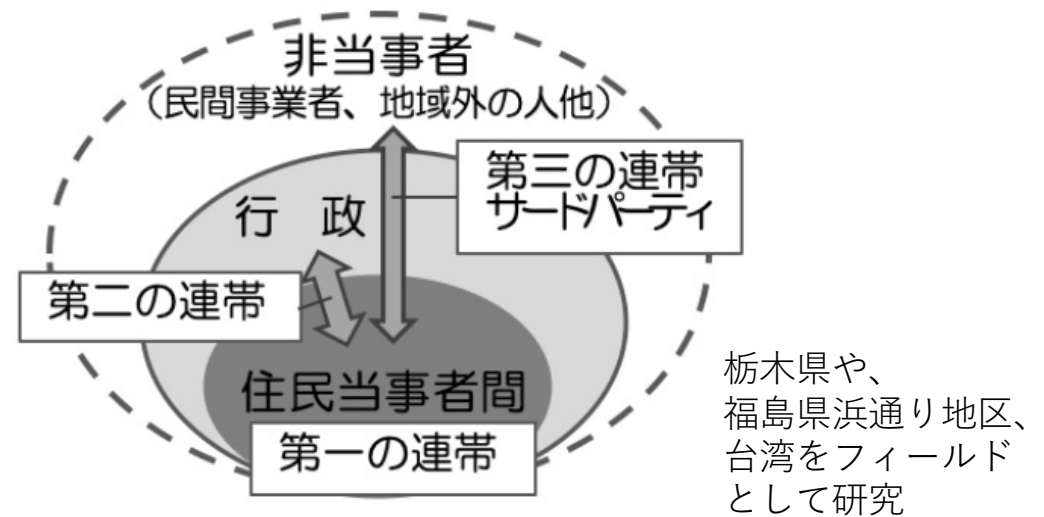


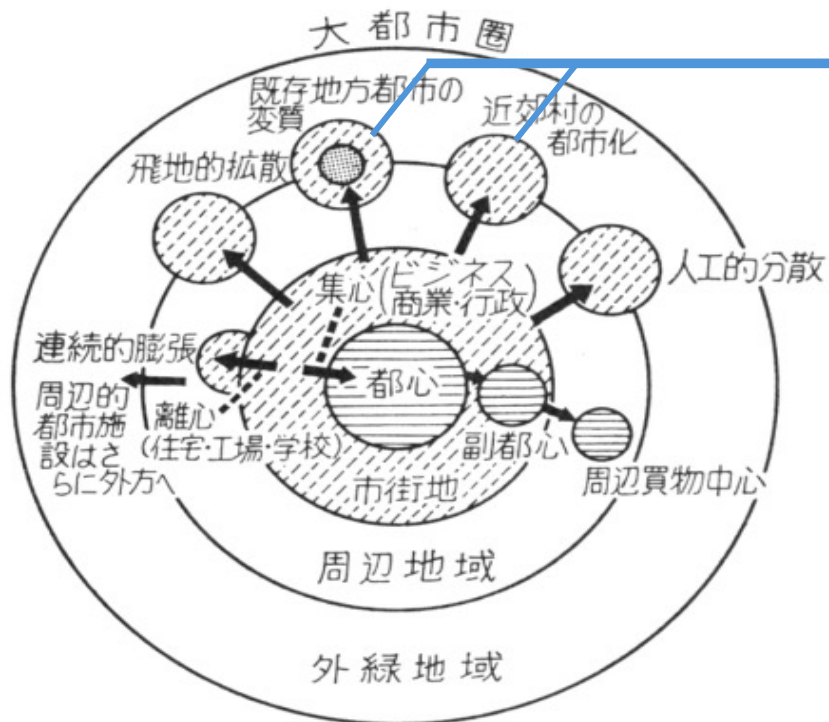
図2 ②の説明図 サードパーティの参加による地域自治の構想

直近の科研費研究

自治会消滅の実態を踏まえた新たな地域自治モデルの創出

次の10年（50代）のテーマは現在、探索中です。

大学院ゼミでは（博士6名、修士4名）



（出典：変動する都市）

山鹿 誠次（やまがせいじ），東京書籍，1979

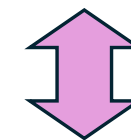
関係自立都市構想

中心都市に強く関係しながらも独自の歴史・社会関係資本を有する都市づくり

メガシティ・フリンジ・コミュニティ研究

- (1)内なる国際化（永住者、特定技能実習）
- (2)県外からの移住女性・男性の働き方、地域参画
- (3)中高生の現役時代の地域参画と卒業後の関係人口形成
- (4)フリンジエリアの福祉デザイン（障害者、不登校）

栃木、福島、沖縄



台湾、ニュージーランド

論文

researchmap

[支援グループによる国際移住者との 接触・交流活動の変容に関する研究 支援グループへの聞き取り調査結果の接触仮説による分析](#)

村松 英男, 石井 大一郎

日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要 42 46-58 2024年7月 [査読有り](#) [筆頭著者](#)

[永住者の社会統合に向かう意識変容～地方都市における国際移住者の在留継続に関する研究～](#)

村松英男, 石井大一郎

コミュニティ政策学会 21 126-144 2023年9月 [査読有り](#) [筆頭著者](#) [責任著者](#)

[高校生の社会参加の実態と活動経験別にみた支援方策の検討——栃木県総合教育センター「地域課題に関する調査研究」の高校生サンプルに着目して——](#)

石井 大一郎, 小柳 真一

地域デザイン科学：宇都宮大学地域デザイン科学部研究紀要 = Journal of the School of Regional Design Utsunomiya University (8) 93-112 2020年9月1日 [筆頭著者](#) [責任著者](#)

[コミュニティを介した育児期母親のWork-Family Conflictの変容に関する研究——栃木県宇都宮市および近隣地域を事例として——](#)

菊地 敦子, 石井, 大一郎

地域デザイン科学：宇都宮大学地域デザイン科学部研究紀要 = Journal of the School of Regional Design Utsunomiya University 10 173-188 2021年9月1日

[育児期母親の働き方と夫婦間相互調整：宇都宮市及び周辺地域におけるプレ調査](#)

菊地 敦子, 石井 大一郎, Atsuko KIKUCHI, Daiichiro ISHII

地域デザイン科学：宇都宮大学地域デザイン科学部研究紀要 = Journal of the Faculty of Regional Design Utsunomiya University (9) 87-98 2021年2月

[「見えていない市民」を照らすコミュニティ政策](#)

石井大一郎

コミュニティ政策 21 86-109 2023年9月 [招待有り](#) [筆頭著者](#)

[ボランティア経験のない高校生のグループ 活動を促す支援と配慮に関する研究](#)

石井大一郎, 黒田聡美, 小柳真一

日本福祉教育・ボランティア学習学会誌 40 19-31 2023年7月 [査読有り](#) [筆頭著者](#)

[ニュージーランド、クライストチャーチにおける地域自治の仕組みと地域活動——新たな地域自治の仕組みづくりの検討に向けて——](#)

石井 大一郎, ダン 美智子, Daiichiro ISHII, Michiko DUNN

地域デザイン科学：宇都宮大学地域デザイン科学部研究紀要 = Journal of the School of Regional Design Utsunomiya University (8) 131-150 2020年9月1日 [筆頭著者](#) [責任著者](#)

[台湾における社区再生に着目して——](#)

石井 大一郎, 佐藤 綾香

地域デザイン科学：宇都宮大学地域デザイン科学部研究紀要 = Journal of the School of Regional Design Utsunomiya University (8) 113-130

石井論文
地域自治
自治会、中間支援

[策：社区营造三期と台湾版地方](#)

AWA

of Regional Design Utsunomiya

[高校生の社会参加の実態と活動経験別にみた支援方策の検討——栃木県総合教育センター「地域課題に関する調査研究」の高校生サンプルに着目して——](#)

石井 大一郎, 小柳 真一, 木津 英美里, Daiichiro ISHII, Shinichi KOYANAGI, Emiri KIZU

地域デザイン科学：宇都宮大学地域デザイン科学部研究紀要 = Journal of the School of Regional Design Utsunomiya University (8) 93-112 2020年9月1日 [筆頭著者](#) [責任著者](#)

[縮退期コミュニティにおける異なる住民層の合流活動に関する研究：さくら市河戸地区を事例とした住民の活動欲求に着目したコミュニティ分析](#)

石井 大一郎

コミュニティ政策 (17) 118-140 2019年 [査読有り](#) [筆頭著者](#) [責任著者](#)

[自治会を基盤とした生活支援事業体の創成と経営—持続可能なコミュニティデザインに向けた主体形成に関する研究—](#)

石井大一郎

宇都宮大学地域デザイン科学部研究紀要 1(1) 85-105 2017年2月1日 [筆頭著者](#) [責任著者](#)